

社会福祉法人みはらし

令和 4(2022)年度事業報告

- 法人運営
- 中区障害者地域活動ホーム
 - I 基幹相談支援センター
 - II 日中活動
 - III 生活支援
 - IV その他
- 中区後見的支援室らるご

○法人運営

1. 基本方針、職員倫理綱領の制定

法人の基本理念の実現に向けた、「基本方針」と「職員倫理綱領」を制定しました。施設を利用される一人ひとりの尊厳と人権を守り、利用者の意思を尊重し、利用者主体の質の高いサービスを提供ができるように取組むための職員の基本姿勢を明文化しました。

2. 理事会の開催

日時	場所・人数	主な内容	結果
6月2日(月) 19:00-20:00	地域交流室 理事5名 監事2名	1. 令和3年度事業報告(案)の承認について 2. 令和3年度計算関係書類(案)並びに財産目録(案)の承認について 3. 令和3年度社会福祉充実残額の有無について 4. 非常勤就業規則の変更について 5. 定時評議員会の開催について	すべて承認
7月11日(月) 19:00-20:30	地域交流室 理事6名 監事1名	1. 障害者虐待疑い事案について 2. 中区障害者地域活動ホーム生活介護事業運営規程の承認について 3. 苦情解決第三者委員の選考について	すべて承認
12月1日(木) 19:00-19:45	地域交流室 理事6名 監事1名	1. 障害者虐待事案再発防止対策進捗について 2. 基本理念案について 3. 上半期事業報告について 4. 上半期収支報告について 5. 給与規程の変更について	すべて承認
3月16日(木) 19:00-19:50	地域交流室 理事4名 監事2名	1. 2022年度年度末手当の支給について 2. 2023年度事業計画(案)について 3. 2023年度収支予算(案)について 4. 評議員候補者(欠員補充)の推薦について 5. 評議員選任・解任委員の退任・選任について 6. 評議員選任・解任委員候補者の再任について 7. 評議員選任・解任委員会の開催について 8. 2022年度第2回評議員会の開催について	すべて承認

3. 監事監査会の開催

日時	場所・人数	主な内容	結果
----	-------	------	----

5月25日(水) 14:00-17:00	相談室1 監事1名	1. 令和3年度事業報告(案)の承認について	すべて承認
5月26日(木) 9:00-12:00	相談室1 監事1名	2. 令和3年度計算関係書類(案)並びに財産目録(案)の承認について 3. 令和3年度社会福祉充実残額の有無について	

4. 評議員会の開催

日時	場所・人数	主な内容	結果
6月24日(金) 10:30-12:00	地域交流室 評議員6名 理事3名	1. 令和3年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 2. 令和3年度社会福祉充実残額の有無について	すべて承認
3月24日(金) 13:00-15:00	地域交流室 評議員6名 理事3名	1. 2023年収支予算(案)について 2. 2023年度事業計画(案)について	すべて承認

5. 評議員選任・解任委員会

日時	場所・人数	主な内容	結果
3月30日(木) 16:00-16:30	相談室 委員3名	1. 評議員選任・解任委員会委員長の選任について 2. 評議員退任の承認について 3. 評議員(欠員補充)の選任について	すべて承認

6. 管理職会議、各種委員会について

(1) 管理職会議・主任会議

法人の内部的・対外的な業務執行について課題等の検討・協議および部門間の円滑な連携のため管理職会議、主任会議を毎月開催しました。

(2) 虐待防止委員会

日時	場所・人数	主な内容
6月7日(火) 10:30~11:00	相談室2 管理職2名 主任3名	1. 令和3年度の取組について 2. 虐待防止委員会設置要綱について 3. 虐待防止啓発掲示物について 4. 虐待防止研修の実施について
1月12日(木) 12:00~13:00	相談室2 管理職3名 主任3名	1. 虐待防止のためのアンケートおよび個別面談の実施について(日中活動気づきシート) 2. 虐待防止研修について

(3) 身体拘束適正化委員会

日時	場所・人数	主な内容
6月7日(火) 11:00～11:30	相談室2 管理職2名 主任3名	1. 令和3年度の取組について 2. 身体拘束適正化委員会設置要綱について 3. 身体拘束適正化指針について 4. 身体拘束適正化研修の実施について
1月12日(木) 13:00～14:00	相談室2 管理職3名 主任3名	1. 状況確認および今後の対応 2. 身体拘束適正化の研修について

7. 施設設備の整備について

月日	主な内容
4月28日(木)	送迎車両ハイエース(リース)1台-エスティマと入替
5月9日(月)	2階ドア修繕(下部研磨)
10月15日(土)	2階フロアLED照明交換工事
12月19日(月)	2階ショートステイ小浴場の給湯弁(タイマー式)修

8. 人材育成および資質向上について

(1) 内部研修

ア. 令和4年度全体会議

日時	場所・人数	主な内容
7月2日(土) 9:00～17:00	てんぼ 職員28名	1. 令和3年度収支状況および令和4年度事業計画について 2. 虐待防止と身体拘束適正化について 3. 実務研修 介護設備等の習熟研修 4. 課別会議

イ. 個別支援計画の立て方、共有・実践の仕方の研修会

日時	場所・人数	主な内容
8月28日(日) 14:00～16:00	地域交流室 職員12名 (日中活動)	講師：横浜市総合リハビリテーションセンター 障害者支援施設主任 笹島朋浩氏 内容：講義および個別支援計画策定を効果的に進めるためのグループワークを実施

ウ. 身体拘束適正化・権利擁護研修

日時	場所・人数	主な内容
11月26日(土) 10:00～12:00	地域交流室 職員16名	講師：鹿児島女子短期大学准教授 平本譲氏 内容：福祉がめざすもの(ウェルビーイングについて)
12月10日(土) 10:00～12:00	カフェスペース 職員17名	講師：鹿児島女子短期大学准教授 平本譲氏 内容：私たちは誰なのか(事例をとおして考える)

2月25日(土) 10:00～12:00	カフェスペース 職員16名	講師：鹿児島女子短期大学准教授 平本讓氏 内容：利用者理解とチームワーク 行動障害への対応について考える
-------------------------	------------------	--

エ. 相談初任者研修

日時	場所・人数	主な内容
11月17日(木) 14:00～16:00	相談室2 職員3名	講師：湘南精神保健福祉士事務所 長見英知氏 内容：専門職・相談員とは
12月14日(水) 13:00～14:00	相談室2 職員5名	講師：運営課長 内容：障害支援区分について
12月16日(金) 14:00～16:00	相談室2 職員3名	講師：湘南精神保健福祉士事務所 長見英知氏 内容：ソーシャルワークにおける利用者主体とは
1月26日(金) 10:30～12:00	相談室2 職員4名	講師：湘南精神保健福祉士事務所 長見英知氏 内容：ソーシャルワークにおける利用者主体とは

オ. グループスーパービジョン

日時	場所・人数	主な内容
12月9日(金) 10:30～12:00	相談室2 職員6名	S V：障害者支援施設花みずき 梶谷洋之氏 事例検討
12月22日(木) 12:30～14:30	相談室2 職員6名	S V：障害者支援施設花みずき 梶谷洋之氏 事例検討
1月5日(木) 10:30～12:00	相談室2 職員6名	S V：障害者支援施設花みずき 梶谷洋之氏 事例検討
1月16日(金) 10:00～12:00	相談室2 職員6名	S V：障害者支援施設花みずき 梶谷洋之氏 事例検討
1月26日(金) 9:30～10:30	相談室2 職員6名	S V：湘南精神保健福祉士事務所 長見英知氏 事例検討

カ. 個人情報保護研修

日時	場所・人数	主な内容
3月27日(月) 14:00～14:30	相談室2 職員6名	講師：運営課長 服部志伸 内容：個人情報保護にかかる基本方針について

キ. その他

- ・ 新任職員研修：5/2(月)、6/1(水)、10/3(月)、12/1(木)
- ・ 地域ケアプラザ(地域包括支援センター)実習：基幹職員が各地区担当の区内6地域ケアプラザにて実習・2/19(金) 簗沢、麦田、3/14(火) 新山下、3/15(水) 不老町、3/16(木) 本牧原、3/17(金) 本牧和田

(2) 外部研修への参加

月日	研修名	参加者
6月7日(月)	リスクマネジメント研修(区障連主催)	管理職・主任 6名
7月6日(水) 7月12日(火)	横浜市相談支援研修Ⅰ(基礎)	基幹3名
7月14日(木) 9月1日(木) -2日(金)	神奈川県障害者相談支援従事者初任研修	基幹1名
8月4日(木)	成年後見制度利用促進研修	基幹1名
8月10日(水)	虐待防止研修(市社協主催)	管理職1名
9月21日(水)	地域生活定着支援センター研修(区役所主催)	基幹3名
9月30日(金)	サービス管理者等基礎研修	主任1名
10月6日(木)	サービス管理者等更新研修	管理職1名
10月20日(水) -21日(木)	令和4年度横浜市強度行動障害支援力向上研修【基礎研修】(オンライン)	生活支援 1名
11月10日(木) -11日(金)	社会福祉法人会計基準対応研修(応用編)	管理職1名
12月6日(火)	障害のある方の口腔ケアとは-医療保険衛生等研修会 -(市社協主催)	主任1名
2月15日(水)	発達障害のある人の単身生活に向けたアセスメント と支援のポイント(オンライン)	基幹1名
3月6日(月)	みんなで学ぼう福祉の基本コンセプト(区障連主催)	基幹5名 管理職1名
3月22日(水)	横浜市看護師・支援員スキルアップ研修	主任1名

9. 防災等への取組

日時	人数	主な内容
9月27日(火) 16:00~17:00	職員8名 利用者2名	みはらしポンテ合同消火・避難・通報訓練 北方消防署長指導のもと実施
3月9日(木) 17:00~18:00	職員8名	みはらしポンテ合同夜間消火・避難・通報訓練 北方消防署長指導のもと実施

10. 事故・苦情等の状況

- (1)ヒヤリハット 25件(日中19件 生活支援1件 基幹2件 総務3件)
- (2)事故 21件(日中18件 生活支援2件 総務1件)
- (3)苦情 3件(日中2件 生活支援1件)
- (4)その他 ハラスメント事案、職員の不適切発言、虐待通報事案

○中区障害者地域活動ホーム

I 基幹相談支援センター

障害のある方が住みなれた地域でその人らしく安心して暮らしていくために、日常生活や仕事などに関するさまざまな相談に対応しました。

令和4年度は、相談員が大幅に入れ替わりました。この危機的状況を新しい形を作るチャンスと捉え、「何を指すか」「重点的に取り取り組むことは何か」「どのようなチームにするか」を全員で考え再スタートを切りました。

1. 重点項目の達成状況

- ・基幹相談支援センターの位置づけと役割を説明したリーフレットを作成し、周知活動を行いました。
- ・中区生活支援課生活困窮支援チームや子ども家庭支援課権利擁護担当との連絡会の開催や、寿ゆめ会議にて講演を行うことで、周知活動に努めました。

2. 主な活動の計画の達成状況

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

- 地域包括支援センターとの連携強化を目指し、地域ケアプラザ単位の地区別担当制を導入しました。相談窓口を明確にしたことにより、地域ケアプラザからの紹介が増加しました。
- 講師を招いての新人研修ならびにグループスーパービジョンを行い、個々の相談員のスキルの向上を図りました。
- 上記の効果があり、相談員に変動がある中でしたが、新規相談ケースの件数が、112件となり、昨年度より18件増加しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	8	9	10	5	9	9	12	9	7	10	9	15	112
対応	103	84	120	92	183	123	137	125	119	129	115	163	1,501

(2) 地域の相談支援体制の強化の取組

- 二次相談支援機関の協力を得て、自立支援協議会計画相談部会内で模擬グループスーパービジョンを行い、特定相談新事業所のスキルの底上げを図りました。大変好評であったため、次年度は定期的な実施を計画しています。
- 特定相談支援事業所の訪問は一部のみに留まったため、開設時の同行訪問を含め、次年度に計画的に実施します。

(3) 地域移行・地域定着の促進の取組

- 令和3年度に終結した自立支援協議会地域移行分科会の報告を同協議会担当者会でを行い、同協議会精神部会につなげました。
- 障害児入所施設の出口支援を5件、障害者入所施設から単身生活への移行支援を1件、少年鑑別所出所後の地域定着支援を1件、関係機関と連携しながら行いました。

(4) 権利擁護・虐待防止の取組

- ア. 自立支援協議会主催による虐待防止研修を開催し、60名の参加があり、区内の障害者福祉に携わる支援者の意識の向上を図りました。
- イ. 中区サポートネットワークの事務局に参画し、高齢者福祉とともに成年後見制度推進の組み立てを行いました。

(5) その他地域の状況に応じた独自の取組

「それをするには理由がある」という障害特性の啓発映像を、横浜市営地下鉄で放映し、地域住民に向けて障害理解を促進しました。

(6) 地域生活支援拠点機能の整備に向けた取り組み

居住支援の要となるグループホームの状況を把握するために、10件のグループホームを訪問、3件のグループホームからは電話にて、状況の聞き取りを行いました。グループホームの特徴を把握し、それぞれの持つ課題を共有することが出来ました。この取り組みは次年度も継続し、居住支援のための主な機能である、体験の機会・場を作り出す仕組みを目指します。

(7) 中区障害者自立支援協議会の運営

- ア. 進路懇談会を開催し、横浜市発達障害者支援センターの職員による「教育から福祉の移行期支援」の講義を行いました。
- イ. タイムリーに必要な情報が発信できるようホームページのリニューアルに取り組みました。具体的内容は次年度に進めていきます。
- ウ. yahoo 安否確認メールの要否の見直しを行い、年2回程度試行するも反応がなく、有事の際に実効性がないと判断し終了しました。今後代替手段について検討していきます。

II 日中活動

在宅の障害のある方が、地域で自立した日常生活をまたは社会生活を営むことができるよう、創作的な活動又は生産的な活動の機会の提供及び社会との交流の促進等の支援をしました。

1. 利用者の傾向と利用者像について

(1) 障害別区分・曜日別契約者数(令和5年3月)

区分	人数	医療ケア	行動障害	月	火	水	木	金
6	28	4	3	13	15	16	13	13
5	9	-	-	3	4	5	6	3
4	8	-	-	3	4	3	3	2
3	15	-	-	13	11	10	12	10
2	1	-	-	1	1	1	0	1

1	0	-	-		1	0	1	1
計	61	4	3	33	36	35	35	30

(2) 週当たり利用回数と住居

・週あたり利用回数

契約数	人数
5回	13
4回	3
3回	9
2回	14
1回	22
計	61

・住居(令和5年3月)

住居	人数
親と同居	37
兄弟と同居	1
グループホーム	19
独居	3
夫婦	0
その他	1
計	61

(3) 利用実績について

・一日当たりの利用者人数

	R4年	R3年
利用者人数	25.7	25.5

・曜日別実績人数

	月	火	水	木	金
最多	28	33	30	30	27
最小	12	16	12	12	14

(4) 新型コロナ関係

8/10(水)日中活動の利用自粛のお願いをしました。(自粛依頼期間 8/11(木)~8/19(金))

(5) その他

9/19(月)台風14号の影響で暴風が見込まれたため、自力通所の方7名が昼食後に早退されました。

2. 重点項目の達成状況

(1) 個別支援計画に基づき、一人ひとりの特性に合わせた支援とプログラムを提供

利用者支援に必要な情報を集め、職員間の共有をするために、部屋毎の個別支援会議に非常勤職員を加え支援に必要な情報共有を徹底しました。

<個別支援会議開催回数 34回 1回あたりの参加職員数：常勤 2.6名・非常勤 1.9名>

(2) 障害の特性に応じた4つの活動部屋の設定

利用者が興味を持って、自ら積極的にプログラムに参加し主体的な活動ができるように障害の特性に応じて活動部屋を4つに編成しました。

活動部屋	活動目的	プログラム内容
たいよう	個別の支援が必要な利用者を中心に、個々が主体的に活動できるようなプログラムを提供	個々の自立課題に加え、安心して過ごすための空間の提供。リフレッシュやリラックスを目的とした散歩などの屋外活動。
ほし	車椅子利用者など、身体に障害のある利用者を中心に心身ともにリラックスする事や職員と共に活動に参加することで主体的に楽しむ事を目的としたプログラムを提供	講師による運動プログラム。リラックスを目的とした足浴やスヌーズレン。散歩や園芸などの屋外活動。制作活動。ハンドベルなどの音楽プログラム
そら	重度心身障害の利用者を中心に五感を刺激することで利用者自身が自分の目や耳、鼻、肌などを使って主体的に参加することを目的としたプログラムを提供。	視覚や触覚で楽しむことのできる素材での制作。マットに横になってのストレッチやマッサージ。園芸活動や散歩。五感で楽しむスヌーズレン。嗅覚や触覚への刺激でリラックスするアロママッサージの提供。
わかば	知的障害の利用者を中心に、職員や講師と共に目標や役割を持って日々の活動に取り組むことで、集団活動の中でもより主体的に活動することを目的としたプログラムを提供。	講師によるダンス・ヨガ・エアロビクスなどの運動プログラム。合奏や合唱などの音楽プログラム。利用者の話し合いで決定するテーマやイベントにむけての協同制作。役割分担して行う園芸活動。毎月の予定を話し合いで決めたレクリエーションの提供。また、練習した演目や作品を発表する機会の設定。

上表に加え目標を持てるように、練習した演目や作った作品を発表する機会を例年より多く設けました。また、屋外活動の機会を増やし、みなとみらい地区の散策や野毛山動物園の散策、山手地区の散策などの外出プログラムを実施しました。

3. 食事代の値上げについて

6月より下表のとおり値上げしました。

項目		旧価格	新価格
日中活動	昼食	400円	430円
ショートステイ	夕食	400円	430円
	朝食	300円	300円

4. 生活介護事業に使用する居室の変更申請

(1) 変更内容：現在の1Fセミナールーム、2Fあると、ぶらんこ、てんぼの4室に加え、ボランティアコーナー(カフェ)の2/3のスペースを加えました。

(2) 理由：障害特性に合わせた支援と新型コロナ対策のため小グループでの処遇に取

組むため。

5. 家族懇談会

日時	場所・人数	主な内容
1月20日(金) 13:30~15:00	地域交流室 家族5名 職員3名	1. ご利用者の傾向とご利用者像について 2. 日中活動の取組について 3. 現在の日中活動の様子について 4. 事故・苦情等の状況について(虐待通報事案について) 5. 施設見学

6. 業務改善への取組

(1) 日中活動見える化プロジェクト

日中活動の各職員の動きをシート上に見える化しムリ・ムラ・ムダの業務点検を行いました。個別対応の常勤職員負担が大きいこと、手が余る時間帯等あるなどの課題を把握し、適切な運営体制の検討に取組みました。

(2) 虐待の未然防止、身体拘束適正化に向けたアンケート(気づきシート)の実施

虐待未然防止、身体拘束適性化について、的確な現状把握と風通しの良い職場づくりを行うため、直接支援に関わる職員へ日中活動等における「気づきシート」でのアンケートを実施しました。回答内容に応じて管理職面談等を行い、その結果を共有・検討し、より良い支援につなげました。

Ⅲ生活支援

障害のある方の家族等が本人の介助を行えない場合や休養が必要な場合、事前登録後に宿泊を含めた一時的な過ごし支援を行いました。

1. 一時ケアおよびショートステイの利用状況について -重点項目の達成状況-

登録者数は455人となりました。

(1) 一時ケア

ア. 一時ケアの利用件数636件(R3年667件)と31件減少しました。

(目標件数600件に対して、達成率は106%)

イ. 一時ケア利用時間数2464.5時間(R3年2,664時間)と199.5時間減少しました

(目標時間数2,500時間に対して、達成率98.5%)

ウ. 一時ケア担当非常勤職員が減ったことで件数減となりました。

(2) ショートステイ

ア. ショートステイ延泊数311件(R3年210件)と101件増加しました。

(目標泊数350泊に対して、達成率88.8%)

イ.宿泊可能な職員が増えたことで受け入れの増加に繋がりました。

成人・児童別の件数

	一時ケア			ショートステイ		
	成人	児童	計	成人	児童	計
R4 年度	271	365	636	266	45	311
R3 年度	270	397	667	195	37	210

平日週末別利用件(泊)数

	一時ケア			ショートステイ		
	平日	土日	計	平日	土日	計
R4 年度	421	215	636	272	39	311
R3 年度	411	256	667	185	25	210

障害種別割合

	一時ケア			ショートステイ		
	知的	身体	精神	知的	身体	精神
R4 年度	82%	17%	1%	76%	18%	6%
R3 年度	77%	21%	2%	66%	23%	11%

2. おもちゃ文庫

新型コロナ感染防止対策として、職員在勤日のみ開館しました。10 月以降、ホームページで開館日予定を掲載するとともに掲示物に QR コードを貼付することでスマートフォンでの閲覧が可能となりました。3 月のひな祭りの創作イベントには 4 組が参加されました。

3. 余暇活動

8 月に「みんなで遊ぼう・ぼっけひろばでプール遊び」を予定しましたが、新型コロナ第 7 波にて中止となりました。

IV その他

1. 中区障害者地域活動ホーム運営委員会

日時	場所・人数	主な内容
3 月 13 日(月) 13:30~15:00	食堂 委員 15 名 職員 1 名	1. 中区障害者地域活動ホーム運営委員会規約の改正について 2. 正副委員長の選任について 3. 報告 現在の活動状況について (虐待通報事案について)

2. 地域交流

(1) ボランティア受入れ

2月より受入れ再開。2名が新規登録活動中です。

(2) 第2地区連合町内会事業への参加

ア. 第2地区連合町内会月次定例会への参加 12回

イ. 元気づくり事業「花いっぱい運動」に6/9(木)、11/7(月)の運河沿いプランター植栽作業へ参加しました。

(3) 2022 ポレポレまつりへ参加

10/29(土)模擬店出店(棒餃子・駄菓子すくい)。職員5名が参加しました。

○後見的支援室らるご

住みなれた地域で、安心して暮らすことを願う障害のある人とその家族の思いを支援するために、後見的支援に取り組みました。

1. 登録者およびあんしんキーパーについて -重点項目についての取組状況-

(1) 登録者状況

	R3年	令和4年度	前年比
登録者数	52名	55名	+3名

・登録者増の内訳

本人・家族からの申し込み2名、他区からの移管1名 計3名

(2) あんしんキーパー

	令和3年度	令和4年度	前年比
支援者キーパー	20名	21名	+1名
地域キーパー	13名	13名	0
合計	33名	34名	+1名

2. 地域づくり、あんしんキーパーの開拓 -重点項目の達成状況-

(1) 登録者増加を目的にあんしんキーパーの事例紹介を含めた事業説明を行いました。

○説明実績 15回

月日	説明先
5月19日(木)	第2地区民生委員・児童委員協議会
5月25日(水)	第2地区連合町内会
6月7日(火)	(株)コルポートカレッジ横浜・横浜北キャンパス
6月20日(月)	(株)ウェルビー桜木町駅前センター
8月19日(金)	寿地区実務者連絡会
9月5日(月)	就労移行支援事業所ミライエ関内

10月25日(火)	横浜市立大学人文社会科学系列国際教養学部・都市社会研究科
11月30日(水)	中区事業者ネットワークみんなのWa! なか
12月7日(水)	第三地区ボランティア団体連絡会
12月9日(金)	ピアジョブサポート横浜関内
12月22日(木)	エンラボカレッジ横浜関内
12月23日(金)	横浜市箕沢地域ケアプラザ
1月27日(金)	ピアジョブサポート横浜関内
2月4日(土)	訓練会チューリップ
2月20日(月)	中区地域精神保健家族会 みなと会

(2) 広報および連携強化活動

- ア. らるご PR ポスターを作成し、町内会の掲示板や本牧イオンにあるイベントチラシコーナー・関係機関などに掲示しました。
- イ. 広報誌「ゆったりらるご」を4回発行、可能な限り関係機関に手渡しで届け、相互のニーズ共有を深めました。
- ウ. 地域からのニーズ把握を目的に、第二地区ふれあいサロンと新山下ベイサイド自治会の見守り世話人会、中華街クリーンアップ活動、中区高齢者の集い、中なかいいね！交流会に参加しました。